

転ばぬ先の知恵



家庭内における 高齢者の事故防止対策

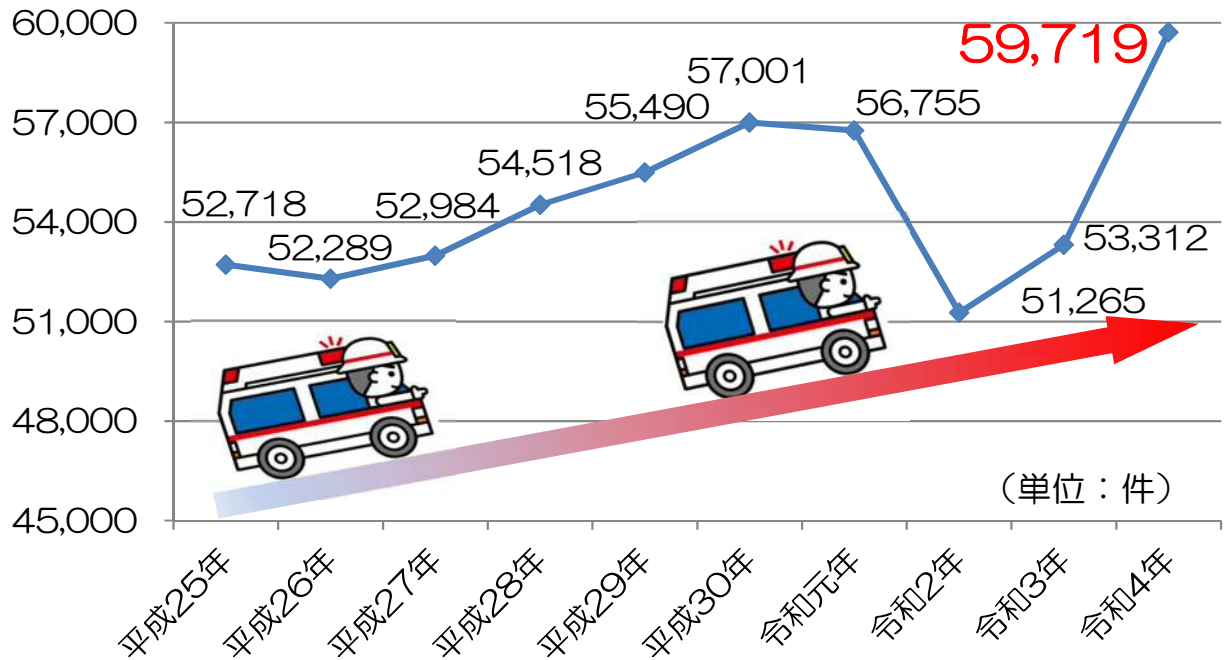


高齢者のケガは、半数以上が家庭内で発生しています。
安全と思っている家庭内にも様々な危険が潜んでいます。
ケガを防止し、健康ですこやかな生活を送っていただけるように
『転ばぬ先の知恵』を策定しました。

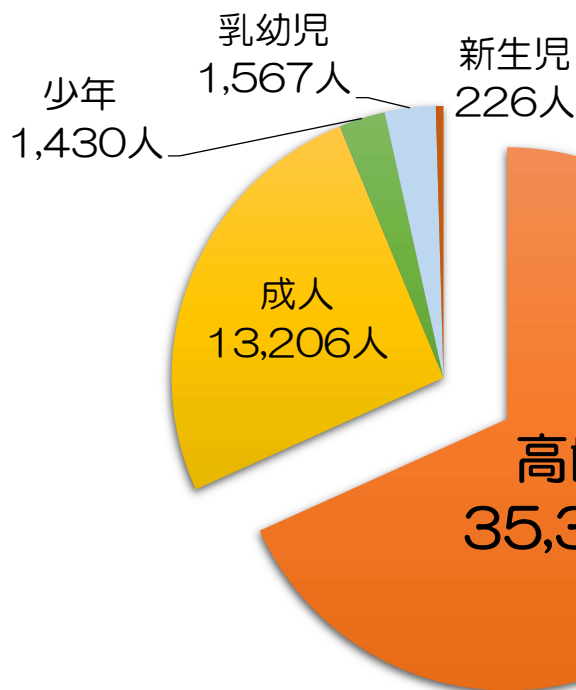
北九州市消防局救急課

【令和4年版】

増えています、救急車の出動！



高齢者の救急搬送状況



救急車で搬送された方(51,743人)
のうち**約7割**が高齢者です。



高齢者の救急要請の理由（事故内訳）と男女比

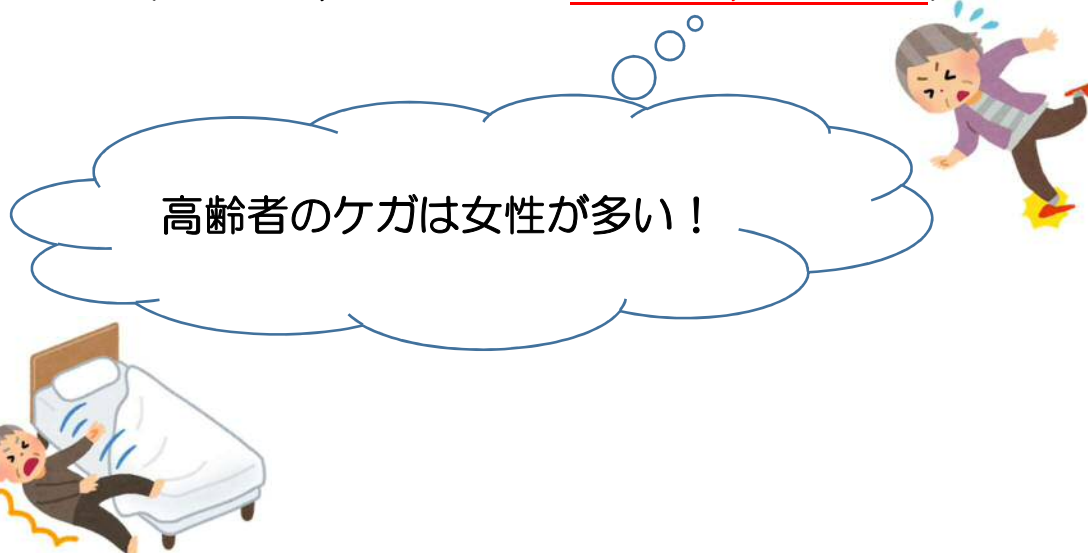
第1位 病気（急病）：24,847人

（男性 11,558人 女性 13,289人）



第2位 ケガ（一般負傷）：6,742人

（男性 2,337人 女性 4,405人）

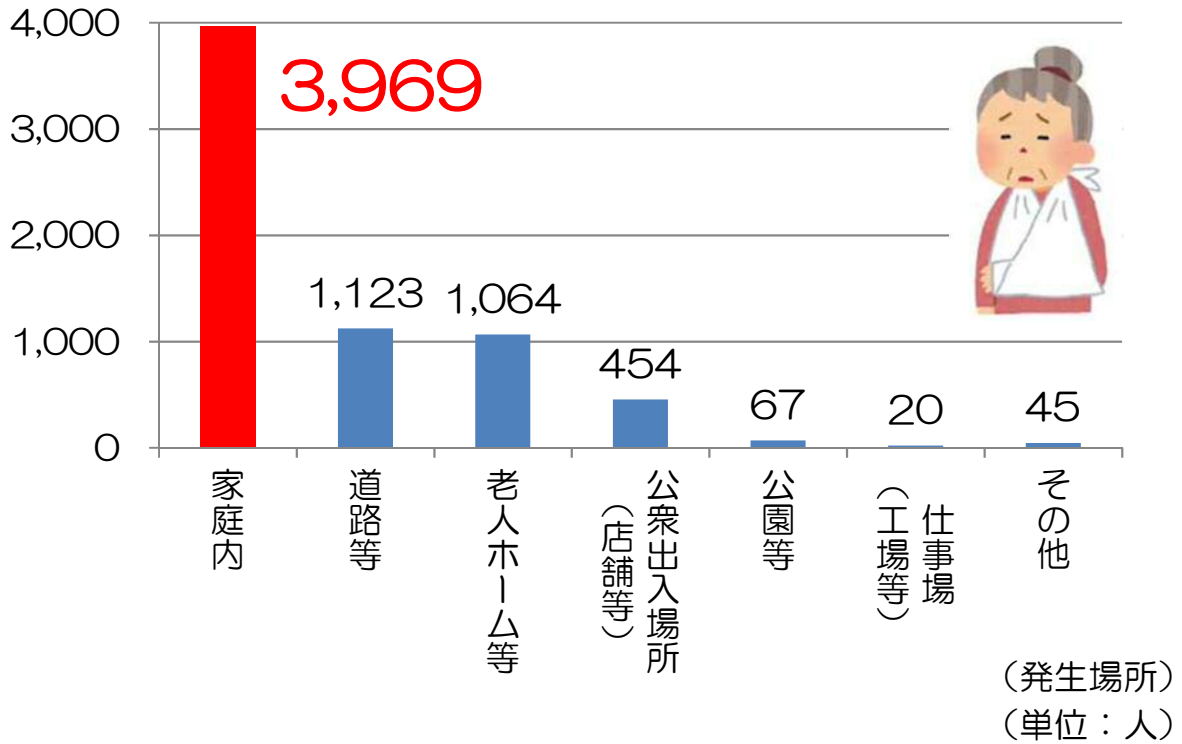


第3位 病院から病院への搬送（転院搬送）：2,897人

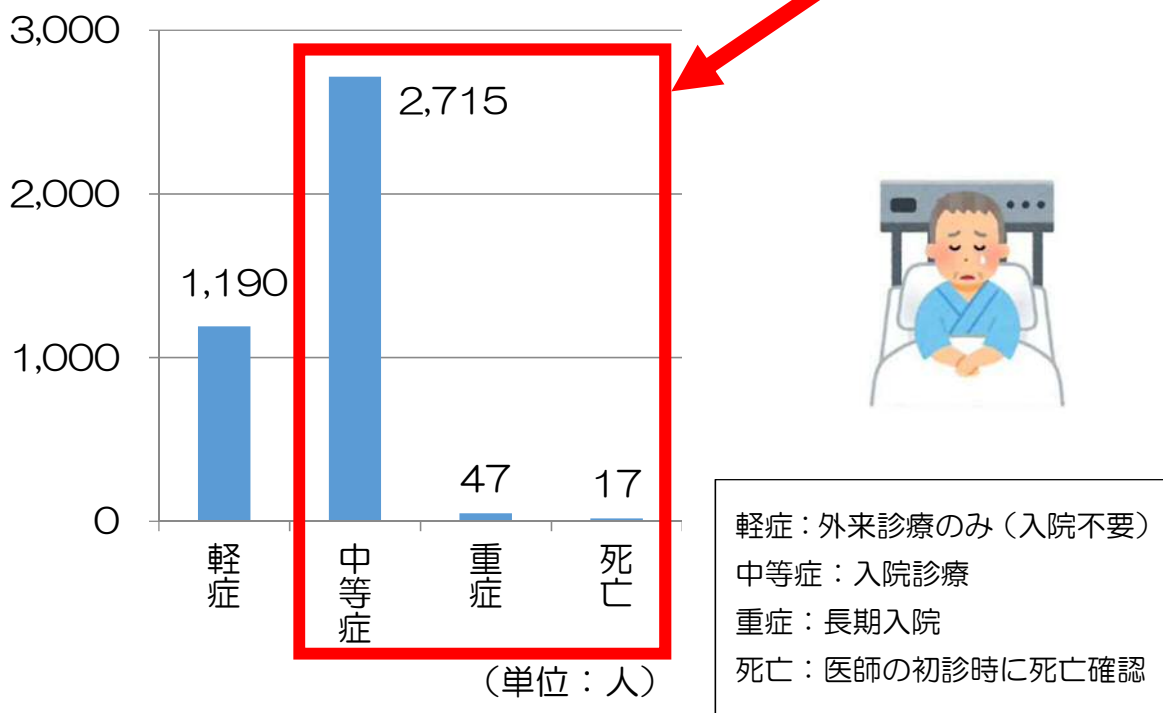
（男性 1,433人 女性 1,464人）



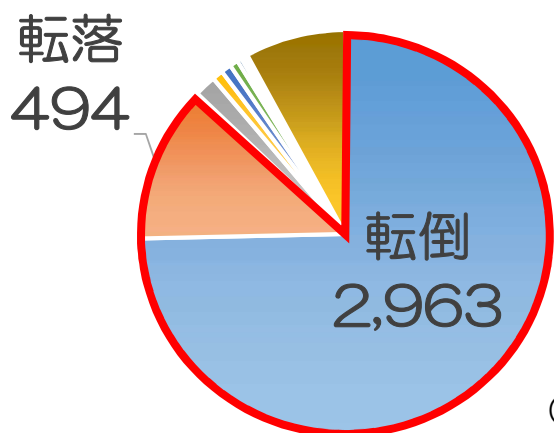
高齢者のケガの現場は「家庭内」が約6割！



「家庭内」のケガで救急搬送後、約7割が入院！



ケガの原因は「転倒・転落」が全体の約9割！



(単位：人)

家庭内でケガした高齢者(3,969人)のうち、転倒・転落が約9割です。



転倒の原因

第1位 身体不自由(足腰の衰え、病気の後遺症など)

第2位 マット等に滑る

第3位 敷居につまずく



転落の場所

第1位 階段

第2位 ベッド

第3位 椅子の上





生活の場にちょっとした工夫を！

転倒・転落を防ぐために



・「段差」をなくす

(家の中のいろんな段差を見直そう！)



・「手すり」をつける

(思わずよろける時に助けになります！)



・滑りやすいものは履かない、敷かない

(スリッパ、靴下、マットは滑りやすい！)

滑り止めを活用しよう！)



・「照明」の活用

(明るい照明や足元灯を活用しよう！)

